

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 骨粗鬆症治療に使用する注射製剤終了後に行う適切な薬剤選択の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 整形外科 職位・氏名 助教・高田和孝

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は骨粗鬆症の治療薬である2種類の注射製剤を使用する順番によって治療成績の違いがあるかを調べることを目的とした研究に利用します。骨粗鬆症は様々な部位で脆弱性骨折を引き起こし、日常生活動作の低下に繋がる恐れがあるため、しっかりと治療することが大切です。しかし治療する薬剤の順番や休薬によりせっかく治療した効果が低下する可能性があります。そのために使用期間に制限のある薬剤(テリパラチド酢酸塩やロモソズマブなど)ではその後の治療(逐次療法)が重要になります。そこで、逐次療法に使用する薬剤ごとに骨粗鬆症の治療にどのような影響を与えるかを調べることを目的としています。この研究で得られる成果は、骨粗鬆症治療の向上につながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

診療情報の内容、X線などの画像情報、採血や生理検査結果などを使用します。

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年3月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

該当なし

【試料・情報の取得方法】

対象者: 2015年4月～2022年3月までに東邦大学医療センター大橋病院 整形外科において、骨粗鬆症の診断で注射製剤による治療を受けた方おおよそ400名

方法: 診療録(カルテ)から抽出した診察内容や採血や画像データを解析します。

治療開始後の観察期間は3年間です。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者: 高田和孝 役職: 助教

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者: 高田和孝 役職: 助教

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方、もしくは代諾者(研究対象者の親権を行う方、配偶者やその成人した子供、後見人その他これらに準じる方で、両者の生活の実質や精神的共同関係から見て、研究対象者の最善の利益を図りうる方)は、2024年4月30日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 整形外科

職位・氏名 助教・高田和孝

電話 03-3468-1251 内線 7517